

1 市民協働	
自治組織運営事業	145,585千円
コミュニティ推進事業	12,083千円

2 健康福祉	
社会参加活動支援事業	1,695千円
子育て拠点施設西側民活導入支援事業	14,111千円
小児任意予防接種助成事業	24,317千円

3 教育文化	
下辺見小学校児童クラブ施設整備事業	3,936千円
諸川小学校児童クラブ施設整備事業	4,116千円
古河市サッカー場改修事業	184,226千円

4 産業労働	
イベント事業	47,962千円
道の駅駐車場拡張事業	301,762千円

5 生活環境	
駅西口地区消防施設整備事業	32,493千円
斎場施設機能整備事業	10,000千円

6 都市基盤	
道路新設改良事業	519,959千円
道路補修事業	477,728千円
仁連江口線整備事業	385,424千円

7 行財政	
インターネット広報事業	2,903千円
第2次総合計画推進事業	9,598千円



▲昨年開催した新成人等と市長とのまちづくり懇談会の様子

あったことから、平成31年度は、より多くの児童が参加できるよう、開催回数を全3回に増やし実施します。オールイングリッッシュでの生活体験を通し、児童がからだ全体で生きた英語に触れることで、国際感覚やコミュニケーション能力の向上を図ります。

本年9月に「いきいき茨城ゆめ国体2019」が開催されます。市では、古河はなもも体育館において8月31日と9月1日の2日間、公開競技の「綱引競技」が、9月8日にデモンストラーションスポーツの「少林寺拳法」が行われます。

古河市サッカー場において、コート全面の人工芝生化を実施します。これまで天然芝の管理に必要な養生期間として、年間において数か月間利用を制限させていただいていたものが、人工芝生化により年間を通してご利用いただけるようになります。

4 産業労働について

年間を通して様々なイベントや伝統的なまつりを開催します。特に、春の古河桃まつりの開園式では、平成最後の記念イベントとして特別なゲストをお招きすることを予定しています。今後も、県内外に古河市をPRし、交流人口の増加や市内商工

業の活性化を図ります。

企業誘致について、これまでの茨城県や圏央道沿線の自治体との連携によるPR、また、直接企業への働きかけを行ってきた効果の一端として、物流施設の開発や運営の大手であるプロロジスが、北利根工業団地において、さらなる開発に着手することとなりました。さらに、日野自動車古河工場内に、日野グループの架装メーカーである株式会社トランテックスが新たに進出することとなりました。2年後には、約300名の従業員での稼働が開始される予定です。

5 生活環境について

地震等の災害発生時において市役所の非常時優先業務の継続性が確保できるよう、防災拠点となる各庁舎について、平成31年度から順次、非常用電源の整備を進めます。

道路交通法の改正によりポンプ車が運転できない消防団員が準中型免許等取得するにあたり、その費用を助成する制度を4月から開始します。また、消防団員を地域ぐるみで応援する制度として、地域の協力店舗において消防団員及びその家族が一定のサービスを受けられる「消防団応援の店」を同じく4月から開始を進めます。

7 行財政について

パスポートの申請及び交付のための窓口を、現在、古河庁舎において平日のみ実施しているところですが、4月から新たに同庁舎で毎月第2日曜日においても窓口を開設し、さらなる利便性の向上を図ります。

リアルタイムで市の情報を発信するためのスマートフォン用自治体アプリの開発が進み、4月からご利用いただける見込みです。子育て日記帳やごみ出しカレンダー、観光ルート案内などの便利な機能を備えた市のアプリを、ぜひご利用ください。

むすびに

人口減少、少子高齢化といった、かつて誰も経験したことのない、この新たな時代を乗り越えていくためには、先人たちによって築きあげられてきた礎を、さらに強固なものにしなければなりません。

私が市長に就任して3年目となる本年を「未来(あした)を切り拓く挑戦の年」ととらえ、困難な課題にも果敢にチャレンジし、将来の古河市発展に向けて全力で取り組んでまいります。